

2011.FEB

釣り人が創る逸品釣具

ぎあ・らぼ

## お気楽Gear-labニュースレター第27号です。

寒かあ～。博多も寒かばい。

窓の外ではリンゴ売り～。氷の世界～

「寒いとお腹に力がはいってお腹がへこんでちょうど良くなります。」…とつまらないジョークをこの冬、何人の人に言ったことか。笑ってくれた暖かい人に感謝感謝です。

釣りに行くぞと悪友を誘っても誰もが「お土産待ってるよ～」という冷たい返事。逆に「焼き鳥どう？」って誘われてそちらにしづぽ振って行ってしまった私です。(～\_～;)

やっぱりお湯割りの芋焼酎がうまい。

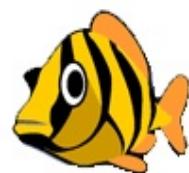
こんな寒いときは、やっぱり釣具製作が一番。削りかけのオモリをじっと見ている私は、ときどきおもむろにニヤっと

してしまって病的で、あぶない状態です。これをトランス状態というのかもしれません。それを身近に見ている人はさぞかしづっと寒気がするでしょう。

子供からも「親父のジョークはむっちゃ寒い」と言われる始末でだまって苦笑いです。

しかし、この1月はあまりにも寒かったのでちょっとした晴れの天気が本当に心地よいです。そんななか暖かいロスアンゼルスにGear-Labの大義名分の旗を掲げて行って参りました。

Gear-Labはこのさきどうなることやら。



## 旅暮らし四方山話。(その16)

Made in Japan は、世界のいたるところで認められています。たぶんそう言われはじめて40年以上はたっていると思います。最初は賃金が安いだけの安からう悪からうの代名詞だったのが今ではもうMade in Japanそのものがブランドとして定着しているのです。工業製品は壊れないし、食品は安全だし、そのなかでも釣具は世界最高だと誰もが言います。またデザイン性もかなり良いというのが、なんば安いものを作っても途上国が追いつきにくいところでもあるのです。最近途上国でも一部の会社がそれに気づき始めたようです。

さてそんなMade in Japanの釣具を世界に売りに行こうと構えてアメリカに行ったのですが、まず今回はロスアンゼルスの

Gear-labは普通の釣具店にはない新しく夢のある逸品釣具を紹介し続けます。全国の熱い人たちと共に本当に良いものを世の中に出すことに真剣であり常識にとらわれない商品開発や逸品釣具を求める方とのみチームを組んでいきます。



パートナーに釣具店巡回の満喫フルコースの旅を味わわせていただきました。釣りを通して出会ったパートナーですが、縁というものは本当に不思議です。縁がたくさんあればそれはツキになり、運となっていきます。私はなんてラッキーなのでしょうと幸運な気持ちでロスアンゼルス空港でそのパートナーに拉致されていきなり

連れて行かれたところがこの写真の有名なBass Pro Shopです。全米中があり、アウトドア関連では世界一でしょう。もちろん通販も世界一。とにかく大きいショップでした。横浜のフィッシングショーの2倍の広さくらいの大きさです。釣り、山登り、キャンプ、カヤック、ボート、ハンティングなどなど、釣具コーナーではあまりの品数に驚きの感嘆を隠せません。国境を越えていろんな (右上につづく)



国の釣具が並んでます。ただ、海釣りはかなり日本の影響を受けてるなということもすぐに分かります。タイラバ、インチクそしてジギングはアメリカでは今始まったばかりのようす。シマノUSAやダイワアメリカは日本国内とはちょっと違った目線でアメリカ市場を作っています。たとえば200gのタイラバは圧巻でした。リールもアメリカ市場らしい物を作っています。しかし、日本の釣具メーカーは本当に世界中で頑張ってます。仕掛けもささめ針、オーナー、デュエル…などなど日本語包装のものもたくさんあります。でも、どんな国に行っても必ずあるのがラパラですね。田舎のどんな小さな釣具店でも必ず置いてあります。ラパラの釣具の先駆者の力にはやはり敬服いたします。

アメリカ製品は近くのメキシコや中国で作らせているものが多くあります。またアメリカ人の感覚そのものが製品になっているのも事実のようです。たとえばスイベル関係は作りが酷かったです。これは絶対に日本人は買わないなと実感しました。

でも、やたら安いのです。これは釣具に限らず食品もそうです。なんでもかんでも安く感じます。

右上のワインをご覧下さい。このワインは3年前ヨーロッパで金賞受賞して約400ドルクラスのワインと同等に戦ってきた美味しいワインです。これがなんと今では1ドル99セントです。一本170円くらいになります。カリフォルニアワインですが、こんなに高いワインがこの価格であることを見るだけでも今回の旅は大成功でした。他にも20本のミネラ

## ロッドホルダーカート完成間際

なぜかカートやロッドホルダー、竿置きはGear-Labでは種類の多いアイテムになって参りました。

サンドカート、竿受けカート、ニアカート、クーラーロッドホルダー、サンドロッドホルダー、クーラーポール、ラクラー、堤防ちょい置き、などなどです。

そこでそのロッドホルダーとカートと一緒にしようとデザインして作ったのが「ロッドホルダーカート」です。カートにロッドホルダーが3つついています。これがなかなかカッコイイのです。竿を持って防波堤を移動するときにはこれは助かります。でも目立つでしょうね。2月中にリリースします。

## Gear-Lab全面改装いたします

お客様から何故カードが使えないのか？なぜ入力を何回もしなくてはならないのか？会員制にしたら？ポイントをつけては？もっと買いやすくしてほしいというお願いをいただいておりましたがやっとこの改装をさせていただくことになりました。現在ショッピングカートを主に全体のサイトデザインを全面的に見直しております。

と同時に製品アイテムもいろんな方向で考えてありますので皆さんどうぞお楽しみに。

Gear-Labは怪しい釣具を創りつづけます。 (~\_~;)



ルウォーターが2ドル99セントで一本13円です。

アメリカ国内のデフレと日本から見た円高とが、あらゆる製品の価格に転化してきています。いえいえそれだけではありません。きっと製造時の技術革新もあるでしょう。いままでと全く違うやり方で作っているはずです。そして流通変革もあるでしょう。現在の日本の変わった速度から見るとアメリカは確実にその上をいっています。ジャパンーズはうかうかしておれません。Gear-Labは面白いことをたくさんです。

## 株式会社ギアラボ

〒813-0016 福岡市東区香椎浜2丁目5-2-701

Tel 092-663-5196

Fax 092-663-5102

Mail NQE50210@nifty.com

このお気楽ニュースレターのバックナンバーは下記にございます。

<http://www.gear-lab.com/newsletter/main.htm>

## Gear-labホームページ

<http://www.gear-lab.com>

毎月の新製品に追われ、全国を旅しながら、モノづくりと販売のお手伝いをしています。

お気軽にメールください。面白い釣具があれば全国どこへでも参上します！一杯呑みましょう。( ~\_~ )

福山克義(ふくやまかつよし) お気楽DEATHこと福山でした

メール NQE50210@nifty.com

